

別府里浜づくり新聞

第21号
平成20年
10月17日

北浜地区2の整備計画の報告会を開催しました

北浜地区2の整備基本計画の策定にあたり、「別府港海岸（北浜地区2）整備計画報告会」を平成20年9月9日（火）午後7時より別府市内の竹瓦温泉2階で開催しました。当日は、30名の市民の方々にご参加いただきました。

平成18年度まで検討を進めてきた北側地区2の整備計画案は、水理模型実験の結果、南側（ヨットハーバー側）隅角部および中央排水路部で、防護水準を満たさない結果が計測されました。そのため、平成19年度に技術的検討を加え、南側護岸天端高を嵩上げし、護岸の直背後に貯留帯を設け、排水路は波の遡上対策としてクランクさせることで、背後に越波の影響が及ばないようにしました。

報告会では、平成19年度に実施した水理模型実験の結果、最終的な構造、完成イメージ、及び整備スケジュールについて報告を行いました。整備スケジュールは、平成21年度に北側の工事用道路から

着手し、北側から随時工事を進め、平成25年度の完成を目指します。

その後の質疑応答では、参加された方々から、以下のようなご質問、ご意見がありました。

- 津波に対しても安全であるか
- 散策する人が楽しめるよう別府港の歴史が感じられるモニュメントの設置、遊歩道だけでなく海岸沿いをつなぐサイクリングロードの整備をしてほしい
- 護岸や緑地、周囲の北浜公園など、国、県、市がしっかり連携して、まとまりのある空間として整備してほしい

これに対し、防波機能については十分機能すると考えられること（ホームページに掲載しています別府里浜づくり新聞の第5号の情報コーナーを参照下さい）、また、緑地等の整備については来年度景観検討会を設け、さらに市民の方の意見を伺いながら具体的な検討を進めることを説明しました。



北浜地区2の完成イメージ図（北側より）



報告会の様子

別府港海岸整備計画検討会委員名簿

◎小島 治幸	九州共立大学 工学部環境土木工学科 教授	(国土交通省関係者)	
阿南 俊晴	別府市 ONSENツーリズム部長	佐々木 政彦	国土交通省 九州地方整備局 港湾空港企画官
上島 顕司	国土交通省 国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港ターミナル研究室長	濱田 浩二	国土交通省 九州地方整備局 港湾空港防災・危機管理課長
小林 健三	上人地区大学通り活性化推進協議会 会長	石貫 國郎	国土交通省 九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所長
齋藤 潮	東京工業大学 大学院 社会理工学研究科 教授	渡邊 幸徳	国土交通省 九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所長
菅 健一	NPO別府八湯トラスト 代表理事		
高森 克史	別府市 建設部長		
松本 久孝	大分県 別府土木事務所長		
三ヶ尻 正友	大分県漁業協同組合 別府支店 運営委員長		
南 明	大分県 土木建築部 港湾課長		
村瀬 昇	独立行政法人水産大学校 生物生産学科 講師		

※◎印は委員長、敬称略・五十音順

お知らせ

第1回ワークショップは12月4日（木）に開催致します。詳細は後日ご案内させていただきます。

※別府港海岸の整備に関する情報は下記別府港湾・空港整備事務所ホームページに随時掲載していきます。是非ご覧下さい。
<http://www.beppu-port.go.jp/>

別府港直轄海岸整備事業において上人ヶ浜地区の整備計画の検討を開始しました

国土交通省 別府港湾・空港整備事務所では、別府港直轄海岸整備事業において「上人ヶ浜地区」の整備計画の検討を開始致しました。別府港直轄海岸整備事業は、北浜、餅ヶ浜及び上人ヶ浜の3地区の海岸線延長約2kmを対象とした高潮対策事業です。平成13年度に事業採択され、平成14年度には、3地区でワークショップを開催し、基本的な考え方や整備の方向性等を取りまとめました。その後平成18年度までに、餅ヶ浜地区、北浜地区2において、ワークショップを重ねるなどの手続きを経て、整備計画を策定しております。また、餅ヶ浜地区については、平成16年度から現地工事に着手しており、北浜地区2については、平成21年度に着工の予定です。

今回、「上人ヶ浜地区」の整備計画の策定にあたり、これまでと同様に、市民の皆様のご意見と、各分野の専門的知見を加えた総合的な検討を行うために、「ワークショップ」及び「検討会」を開催することと致しました。「ワークショップ」では、多くの市民の皆様にご参加頂き、ご意見を伺っていきたくと思います。

なお、「別府里浜づくり新聞」は、情報の公開と共有を目的に、ワークショップ及び検討会開催後に発行し、それぞれの検討の内容をご報告してまいります。多くの皆様にご覧いただき、地域の共有財産としての海辺を考えていく際の一助となれば幸いです。

第1回別府港海岸整備計画検討会を開催しました



別府港海岸（上人ヶ浜地区）の整備基本計画の策定にあたり、行政、専門家及び住民代表からなる第1回別府港海岸整備計画検討会を、平成20年9月9日（火）午後3時より、別府市内のホテルニューツルタで開催しました。今回の検討会では、事務局から検討内容と検討の進め方（検討体制）について説明し、平成13、14年度に検討された整備計画案とその特徴を提示するとともに、上人ヶ浜の現在の利用状況及び地域の要請について報告を行いました。さらに、今後の整備計画案の検討の方向性を提示し、これについて議論・確認を行いました。

検討体制

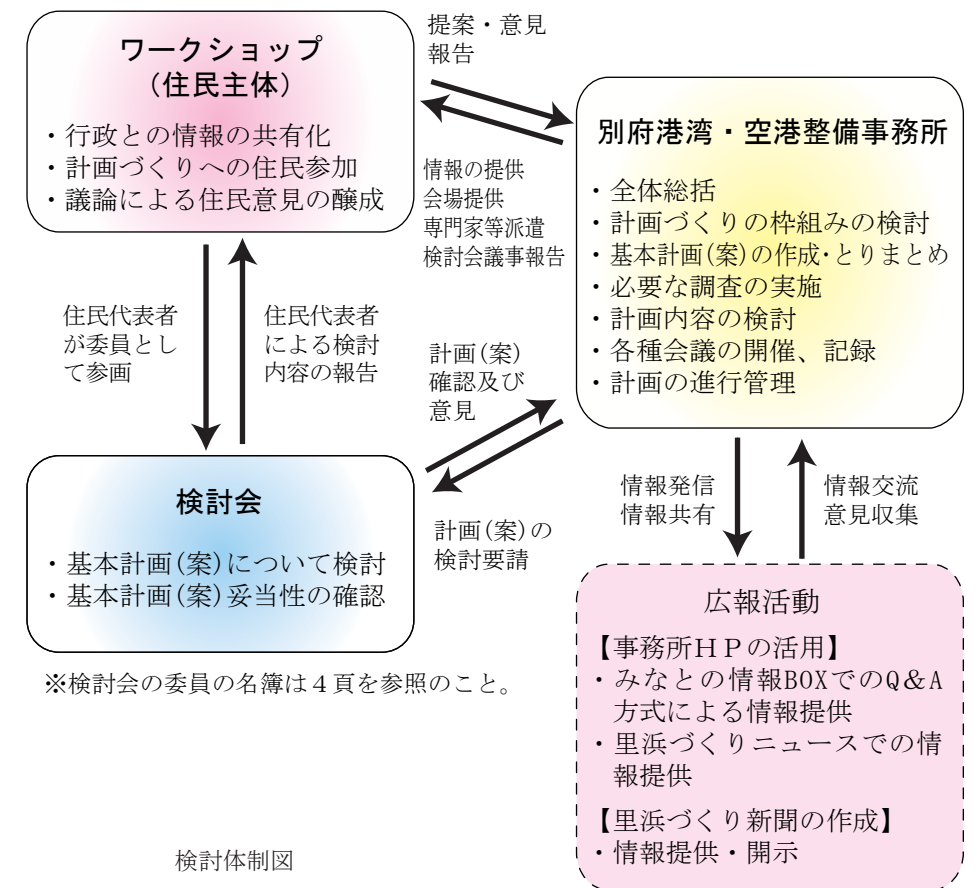
「別府港湾・空港整備事務所」が実施主体となり、「検討会」、「ワークショップ」を組織し、検討を行います。

○検討会

学識経験者、地元有識者、関係行政機関に地域住民代表を加えたメンバーとし、事務局から提案する基本計画(案)に対し、総合的に検討・評価し、妥当性を確認します。

○ワークショップ

計画づくりへの住民の参加を図るため広く一般市民を募集します。ワークショップで議論された意見・要望等は、次期検討会において住民代表及び事務局から報告し、計画(案)づくりに反映させます。また、検討会での検討内容を、次期ワークショップにおいて参加者に直接伝え、情報の共有化を図ります。



検討体制図

検討スケジュール

上人ヶ浜地区の検討は、平成20、21年度の2年間で行います。ワークショップは、平成20年度に2回、平成21年度に3回の計5回を予定しています。検討会は、平成20年度に3回、平成21年度に3回の計6回を予定しています。平成20年度は基本計画案を1案に絞り込み、平成21年度に案に基づいて水理模型実験等の技術的検討を加え、詳細部の妥当性について確認等を行います。ワークショップでの意見は、検討会で報告され、技術的かつ総合的な検討を加え、基本計画案に反映します。

項目	平成20年度						平成21年度									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワークショップ				● 第1回(12月)		● 第2回(2月)		● 第3回(7月)		● 第4回(11月)		● 第5回(3月)				
検討会	■ 第1回(9/9)		■ 第2回(11月)		■ 第3回(2月)		■ 第4回(7月)		■ 第5回(10月)		■ 第6回(2月)					

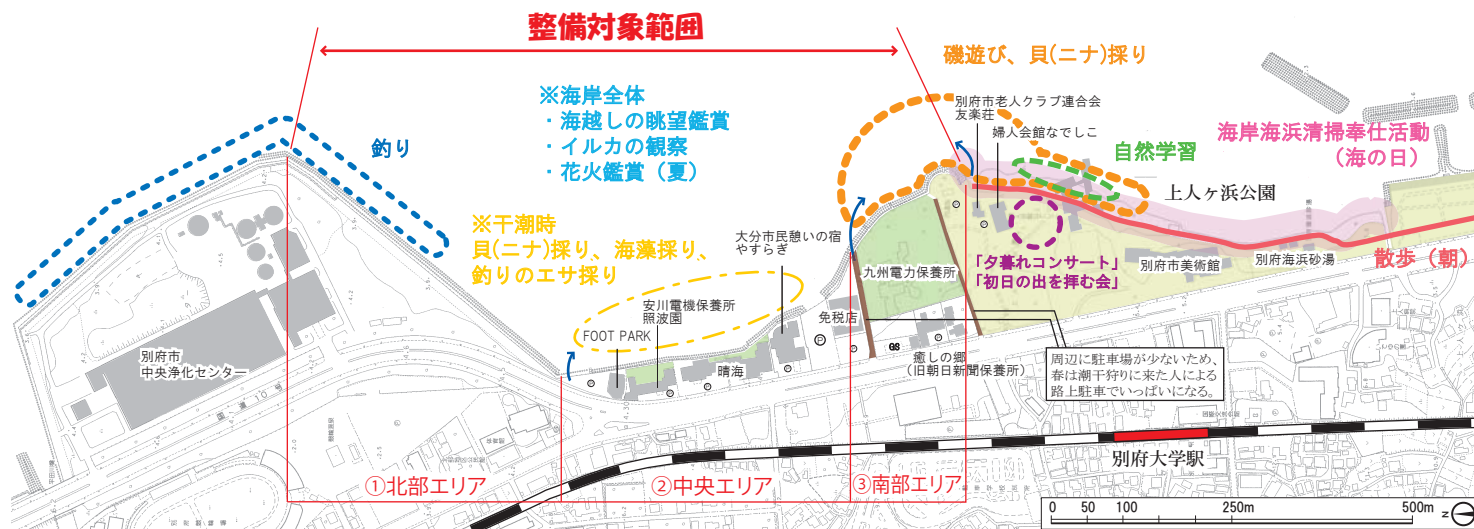
※スケジュールは予定であり、検討の状況等により若干変更することがあります。

整備対象範囲と整備方針の考え方

上人ヶ浜地区の整備対象範囲は、上人ヶ浜公園の北端から中央浄化センターの南側までの約650mの区間です。上人ヶ浜地区の整備方針「自然環境とふれあう海辺空間」を明確にし、今ある自然と調和した海辺空間の創出を目指します。基本計画案の検討においては、この整備方針を実現するために、防災・利用・環境・景観などの観点から整備方針を整理し、整備方針に沿って具体的な基本計画案の取りまとめを行います。

上人ヶ浜の現在の利用状況について

整備対象範囲である上人ヶ浜は、別府港海岸において自然の磯浜が残る数少ない海岸です。また、磯浜にはニナを中心に貝類が豊富に生息し、沖合ではヒジキやワカメなどの海藻も採れます。春を中心に、干潮時には潮干狩りや磯遊びなどの人でにぎわいます。また、背後の土地は、保養所や旅館などの宿泊施設と商業施設が海岸線に沿って立地しています。これらの現状を十分に考慮して、基本計画案の検討を進めていきます。



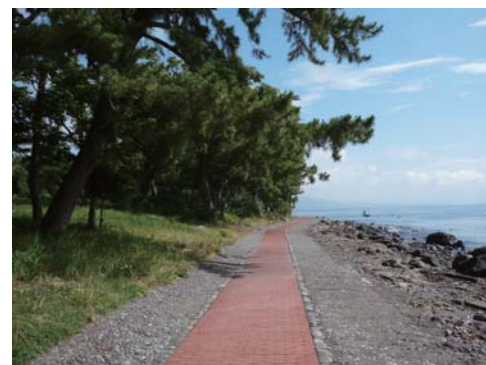
整備対象範囲と現在の利用状況



整備対象範囲北側から南側方向にすべての場所から捉えられる高崎山の眺め



護岸前面に積まれた消波ブロックが干潮時に露出する宿泊施設等の前面海岸

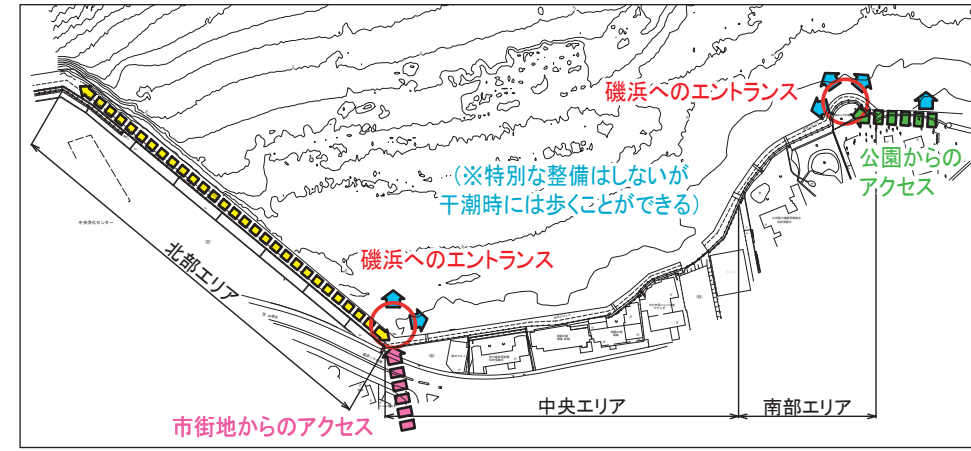
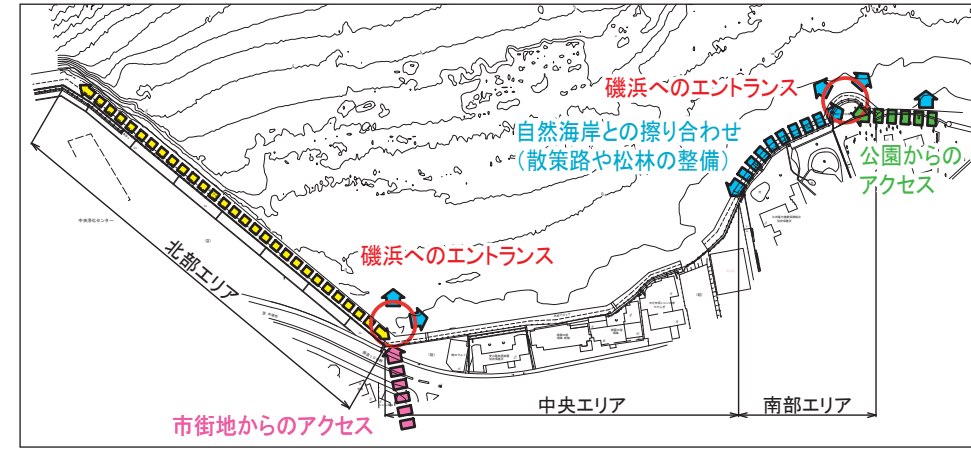
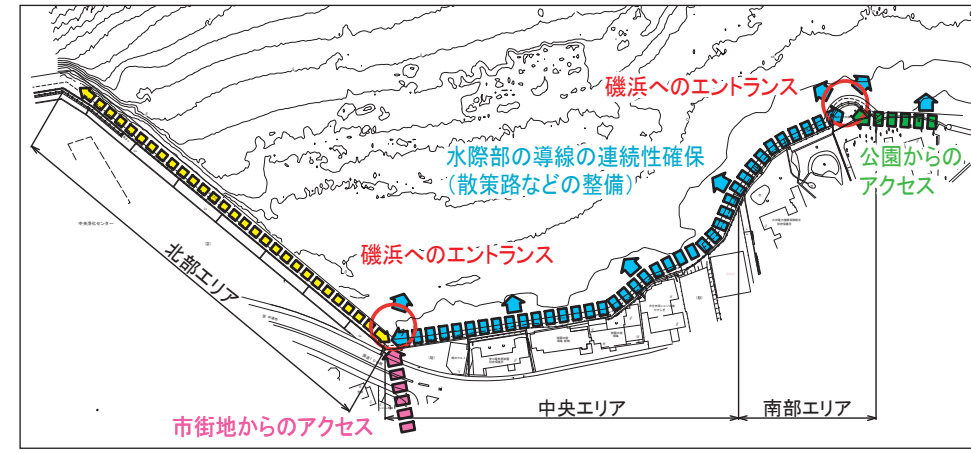


整備対象範囲に隣接する上人ヶ浜公園遊歩道と前面の天然の磯浜(※ここは整備範囲外です)

これまでの検討成果と関係者へのヒアリング調査結果を基に計画案の検討を行いました

平成13、14年度の検討では、「自然環境とふれあう海辺空間」を目標として2つの計画案を作成しました。大きな違いは、中央・南部エリアの海岸沿いに遊歩道を設けるかどうかということです。北部エリアは、展望広場を設け護岸の天端を遊歩道として利用する計画案です。

今年度は、地元住民の方々および関係機関等へのヒアリング調査結果や社会情勢の変化を反映し、これまでの2つの計画案を基本としつつ新たな計画案(3案)を加え検討を行いました。主な検討の内容および討議での意見は以下のとおりです。今後は、これらのご意見を参考に、計画案をさらに深めたいと考えています。



新たな計画案3案

検討のポイント

- 北部エリア
 - ・背後の中央浄化センターへの立ち入り制限や展望広場の設置に関する事業制度の制約などの条件から、積極的に利用しない方向性を提案。
 - ・検討会では概ねこの方向性に理解が得られたが、眺望の良さを楽しめる工夫を検討するようにとのご意見をいただいた。
- 中央及び南部エリア
 - ・遊歩道の有無により3案を提示。
 - ・防犯上の配慮が必要とされること、宿泊施設等の露天風呂との関係などから、遊歩道の設置はふさわしくないというご意見や、遊歩道を設けなくても干潮の時には磯浜を歩いて楽しむので遊歩道は必要ないというご意見もあった。
 - ・また、別府港全体を歩いて楽しむことを目指しているため、遊歩道を設置してほしいというご意見もあった。
 - ・さらに、良好な自然風景を保全してほしいというご意見が出された。
 - ・これらの方向で検討を進めることで大方の了解を得た。

委員の方々と現地視察を行いました

検討会の開会前に、検討会の委員の方々と、現地視察を行いました。中央浄化センターと上人ヶ浜公園の北端部から、整備対象範囲の現在の護岸の状況や背後施設の利用状況及び周囲の眺望などについて確認しました。



浄化センターでの様子



上人ヶ浜公園北端部での様子